

## 万里の松原における野鳥観察会

11月16日（火）酒田市立松陵小学校の四年生を対象とした「野鳥観察会」を酒田市光ヶ丘の「万里の松原（かぶとむしの森等）」で実施しました。

酒田地域は冬型の気圧配置で西風が吹く寒い日となりましたが、四年生の皆さんは防寒衣に身を包み万全の体制で野鳥観察会に臨みました。

「万里の松原における野鳥観察会」には四年生の二クラス 58名、先生 1名、朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター 4名、万里の松原に親しむ会 1名、総勢 64名で実施しました。

松陵小学校四年生の皆さんは学校の正面玄関に集合し、青山所長より双眼鏡の使い方について説明がありました。そこから「万里の松原（かぶとむしの森）」に向かいました。かぶとむしの森には、樹高約 30 m 越えるクロマツが生育しており、野鳥が生息するに良い環境に恵まれています。かぶとむしの森の中に入り、最初にシジュウカラの鳴き声が響いていましたが、四年生の皆さんの元気な声が森に響き渡り、警戒した野鳥たちが姿を消してしまいました。当センターの青山所長より「静かにして双眼鏡で野鳥を探すこと」との野鳥観察の際のポイントについて説明がありました。それ以降、四年生の皆さんは野鳥に気づかれないように努め、おのおの双眼鏡で野鳥（シジュウカラ、エナガ、アオゲラ、ハシブトカラスなど）を見つけることが出来た人もいました。

次に、野外での野鳥観察を終了し、学校内の休憩室に置いて、庄内海岸林に住む野鳥について、青山所長よりパワーポイントによる勉強会を行いました。勉強会では、野鳥を見分けるためのポイント（大きさ、形、鳴き声、渡り鳥又は留鳥など）の説明がありました。四年生の皆さんは、「なるほど」と野鳥に対する考え方に変化が現れました。

最後に休憩室から見える校庭に植えられている桜の梢に数匹のカワラヒワが止まっていたので、センター職員が設置したフィールドスコープを四年生全員が覗き、野鳥の可愛らしさに触れていました。四年生全員が野鳥を観察することが出来て満足していました。四年生の皆さんは、改めて「万里の松原」や学校周辺の自然の豊かさを感じて観察会を終了しました。

